

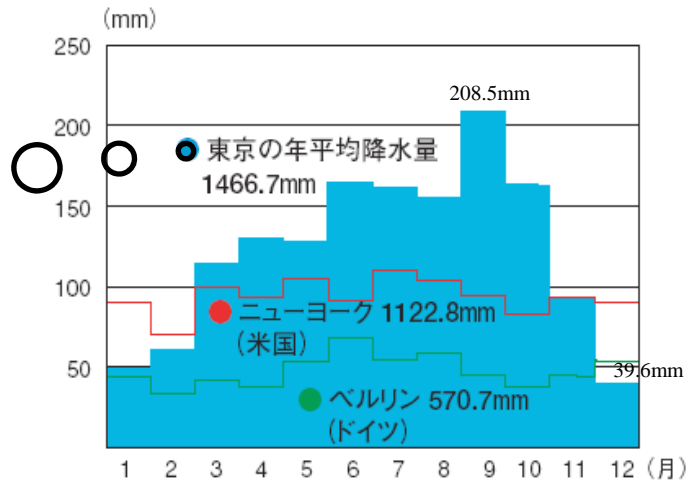
日本の降雨量は世界平均の倍

2014年 7月 10日
国土交通省

世界でも多雨地帯であるモンスーンアジアの東端に位置する日本は、年平均1718mmの降水量があり、これは世界平均(880mm)の約2倍に相当する。

しかも、日本の降水量は季節ごとの変動が激しく、梅雨期と台風期に集中している。
例えば東京の月別平均降水量は、最多雨月の9月で208.5mm、
最少雨月の12月で39.6mmと、
その差は5倍に達する。

東京の降雨量(1530mm)は世界平均(880mm)の約2倍、パリ(650mm)、北京(570mm)の約3倍。



世界各国の降水量

注)日本の降水量は1971年から2000年にかけての平均値。
世界および各国の降水量は1977年開催の国連水会議における資料に基づく
国土交通省土地・水資源局水資源部「平成16年版日本の水資源」(2004年8月)から作成

